



Tosa Junior & Senior High School

# 振興会だより

編集責任者 広報担当 高木直之 発行者 振興会

E-mail:chairman.sinkokai@gmail.com 2009年(平成21年12月発行)



## 今新たな旅立ち 創立記念日に 新校舎竣工記念式典開催

- 校長室だより
- 土佐中・高等学校新校舎竣工記念式典
- 登山部 インターハイ優勝を振り返り
- 受賞・入賞報告
- 文化行事「トーク&ミュージックライブ」
- ガーナ留学生 ホームステイ ～ホストファミリーの感想 抜粋～
- 向陽庵茶室披露
- 生徒会のエコな取組み
- 進学講演会
- 第21回連絡協議会報告
- あとがき「和を以て貴しとし」

記念品目録贈呈

## 第21回連絡協議会報告

振興会理事 植田一穂

12月5日、会議室にて振興会と学校との定例の連絡協議会を開催いたしました。

● 先に先立ち、振興会より学校に、新校舎竣工の記念品の贈呈式を行いました(表紙)。高木副会長から池上校長先生に、移動式防球フェンス10台の目録を贈呈いたしました。

● 近況報告がありました。

● 定礎式・竣工式・記念式典・祝賀会が無事に終了でき皆様に厚く御礼申し上げます。式典の挨拶では感極まり、涙してしまつた。落成記念の新聞広告にも卒業生より協賛をいただいた。

● 旧校舎解体から新校舎竣工までとらえた山口先生のすばらしい写真、そのうち90枚を写真集として学校より出版する運びとなつた。

● ひきつづき募金活動をよろしくお願ひいたします。

● 続いて、井上教頭先生、三浦教頭先生、各部の担当先生から概ね以下のような報告がありました。

● ガーナからの学生が9月1日から1週間本校生と学校生活を共にし、文化交流、友好を深めた。ホストファミリーには特に感謝申し上げます。学生、ホストからも本当に良かったとの感想が寄せられた。詳細は「ガーナよさこい」(Chana Yosakoi)2009にまとめられている。ぜひ一読を。

● 高1修学旅行 前々日に新型インフルエンザによる学級閉鎖があり心配されたが、予定通り無事終了した。新校舎が無事故、無災害で無事完成した。振興会、同窓会に御礼申し上げます。

● 新型インフルエンザおよび同症状による欠席生徒数が全生徒数の25%に達した。希望者にワクチン接種を12月17日より校医の病院で(学校

からバス輸送)行う予定となつた。高3、中2生を優先。

● 来年は創立90周年であり、同窓生の名簿作成予定である。連絡情報等に正確を期したい。同時に卒業生との交流をさらに活発化したい。ご協力をお願いしたい。

● 環境部  
幡多地区より要望のあった女子専門の下宿先が5部屋確保できた。運動会観戦のための椅子が少ないとの苦情に対して、今年は200席増やし100席とした。これ以上の増席は厳しい状況。

● 生徒部  
生徒の自転車ラック。全校生徒数168人に対し162。現在は不足はでない。

● 進路部  
9月5日に筆山ホールで進学講演会を開催。講師は駿台予備学校吉村先生で、先に高2生、後に保護者を対象にお話いただいた。両者にとって刺激ある内容であった。

● 各学年の保護者会を順次行った。センター試験は30名出願している。試験場は今年は男(高知大)女(女子大)が別々になった。指定校推薦は22名出願し、順調に合格。高知大医学部AO入試は9名(現7浪2)合格。第一志望校は国立公立27名、私立78名、東大12名、京大18名、阪大24名、高知大医26名。医学部志望が多くなつてきている。

● 特活部  
文化行事として11月16日に竣工記念コンサートを開催。卒業生である岸本氏の尺八と田中氏のギターの熱い演奏に在校生約170名が聴き入つた。3学期は中学の合唱コンクール予定。

● 図書部  
新しく快適な空間となり、生徒の利用が増加した。本の貸し出し数も増えた。放課後の自習利用も増加している。中学入試説明会、保護者見学会の折に見学説明会を行った。本校の図書予算は県下でトップ(2位の2倍以上)である。保護者の推薦図書を知らせていただきたい。さらなる充実につとめたい。

● 広報部  
中学説明会開催。180名の参加者あり。入試当日のインフルエンザの対応について問い合わせがあつたが、特別な対応はとらない。

● 新校舎見学会を3回開催。HPのリニューアル、新校舎の写真を多くとり入れた。

● 山口先生の写真集「技・魅せられて」100円で販売予定。

● 進学リーダー(ミク)2出版84円12月15日発売)に本校が掲載された。本書は首都圏では有名な中学受験案内の月刊誌である。広告ではなく発行者より取材をうけたものである。首都圏の学校が取り上げられることの多いなか、本校を特集していただいた。本校をPRするうえでこれ以上まとめたものはないといえるほど。ぜひ購入していただきたいが、高知では高須宮脇書店しか扱っていない。急遽インソップ館に50冊おいていただく予定。個人での注文購入もぜひ。

● 事務部  
新校舎の引き渡し書面手続きをふくめ11月30日に予定通り完了。当初の総事業予算をオーバーすることはない予定。

● 新校舎にない法律で衛生管理が義務づけられた。空気環境の測定、飲料水の水質管理など定期的に管理していく。

● 定礎箱への納品物のリスト提示。学校運営補助金決定。昨年が非常に多かった。一昨年よりも多い額。

● 最後に、振興会から以下の議題を出し、学校側と協議しました。

● 振興会・エスカレートする運動会の席取りの改善策として、事前に整理券を渡す、当日席取りに並んでいる人に座席券を配るなどの案を提出。また幡多、中芸支部など遠方の保護者の観戦席の確保および撮影スペースの確保を要望した。次回の運動会の参考にさせていただきたい。

● 学校・過去に何度か議論された課題であるが、これといった決定策がない。

● 振興会・向陽庵を一般生徒にも利用させていきたい。また保護者にも知っていただきたいので保護者会等に利用させていただきたい。

● 学校・向陽庵は茶道部・華道部で使用するだけでなく、一般生徒、保護者も含めて多目的に使用していく。振興会・新グラへのバス輸送は今後どうなるのか。

● 学校・バス輸送は継続する。

以上

● あとがき

「和を以て貴しとし」

● 聖徳太子の十七条の憲法の第一条には「和を以て貴しとし」とある。

● 「二に曰く、和を以て貴しとし、作ふること無きを宗と為す。人皆克有り、亦達れる者少し。是を以て或は君父に順はず、乍た隣里に違ふ。然れども上和らぎ下睦びて、事を論ぶに諍ひぬるときには、則ち事理自ら通ふ。何事か成らざらむ。」

● 十七条の憲法は、今で言う憲法とは異なり、官僚や貴族に対する道徳的な規範を示した内容になっています。現代語訳を引用すると、「二にいう。和を大切にし、いざかいをせぬようにせよ。人はそれぞれ仲間があるが、全くよく悟つたものは少ない。それ故君主や父にしたがわず、また隣人と仲違ひしたりする。けれども上下の者が睦まじく論じ合えば、おのずから道理が通じ合い、どんなことでも成就するだろう。」となるようです。

● 先日の振興会本部の役員会では、活発な意見が出ました。それぞれが意見を持ち、それを言える雰囲気がありました。

● ベースには、お互いの意見を尊重した上での意見交換があり、結果として実りも大きいと思えました。会議はいつもこう有りたいですが、実際はうまくいかない会も多いです。「無理が通れば、道理が引く込む」事になります。WIN-LOSEの関係をWIN-WINの関係まで上げていくには、皆の「和」が大切だと思います。「振興会は学校の応援団です」と最初に教えられた言葉の深さを改めて感じています。





師走の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。いつも学校運営に格別のご支援、ご協力をいただき有難く御礼申し上げます。

### 一、新校舎竣工記念行事

お陰様で新校舎が無事竣工いたしました。  
平成19年9月26日の起工式に始まり、第一期工事（高棟校及び体育館）、第二期工事（エントランス部分及び中学棟）を経て校舎部分が全て竣工し平成

21年11月18日竣工記念式典を行いました。

### （一）、落成記念新聞広告

11月15日、高知新聞朝刊の見開き2頁にカラー刷りで、土佐中・高等学校新校舎竣工「いま、新たな出発」の大きな見出しが躍る新聞広告を出しました。筆山ホールの校章や新校舎の全景、各施設の紹介写真、尾崎高知県知事様・岡崎高知市長様のお祝辞やデハラ・ユキノ氏（68回生）のフィギュアも入って楽しくもにぎやかな紙面となりました。「わたくしたちは、母校を応援しています」という同窓生337名の協賛名前広告や建設にご参加いただいた業者の皆様のお祝広告に感謝申し上げます。

### （二）、竣工記念式典ほか

11月18日、本校創立記念日に新校舎竣工記念式典を行いました。神事としてまず定礎式があり、式典の最後に井上聖香教頭

から定礎板の内容について、「学校法人寄附行為」のほか平成21年を示す色々な品々、勿論「振興会だより」も入っている旨の紹介がありました。

次いで竣工式がとり行なわれ、潮江天満宮宮司の音頭で神酒乾杯を行ない竣工を寿ぎました。

続いて体育館に場所を移し全校生徒ならびに大勢のご来賓の参加のもと記念式典が行なわれました。宮地貫一理事長、池上校長の式辞に続いて、丁度海外出張中の尾崎正直高知県知事様（61回生）からビデオによる大きなスクリーンでのお祝辞を、また高木直之振興会副会長様からも心のこもったお祝辞を頂戴いたしました。生徒代表として松山桃子生徒会長が挨拶の後、祝電披露、校歌斉唱して厳粛の内に一時間の式典を終りました。なお当日贈呈された記念品は、新校舎写真集、饅頭、来賓名簿、高知新

聞（11月15日）でした。

記念式典終了後ご来賓の皆様には新校舎をご案内させていただきましたほか、午後には学年別に保護者の皆様方にも新校舎をご覧いただきました。

同日午後6時から城西館にて祝賀会を開催、建設工事関係者への感謝状の贈呈、高地弘泰高知県私立中・高連会長様の祝辞、中澤卓史高知県教育長様（45回生）の激励と乾杯の音頭による祝宴が賑やかに開催されました。

### （三）、新校舎記念写真集の発行

本校広報部の山口喜久先生が今回の画期的な免震構造の校舎建築工事の進行過程を2年にわたり撮影し、本校のホームページに掲載し続けてこられたことにご承知の通りです。その沢山の写真の中から特選した90枚あまりを一冊の本にまとめ、「技・魅せられて」と題して近日中に出版する予定です。どうかご期待下さい。

### 二、新校舎建築募金

平成19年4月から5カ年間で目標四億円を目指してお願をして参りました募金額が、10月31日現在で、件数四千百拾二件、金額二億六千五百八十八万円となりました。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

### 三、「向陽庵」茶室披露

11月1日、社団法人茶道裏千家淡交会の坐忘齋千宗室お家元からご寄贈いただいた茶室庵号「向陽庵」のご染筆扁額の除幕式が、尾崎高知県知事様、淡交会総本部那須理事様ほか多くの淡交会高知支部の先生方のご出席をいただき、無事と行なわれ茶室披露が終了いたしました。茶道部の皆さんの一層の精進が期待されます。寒さに向う折柄皆様ご自愛下さい。特にインフルエンザにはご注意のうえ良いお年をお迎え下さい。  
(平成21年11月末日)

# 土佐中・高等学校新校舎竣工記念式典

振興会理事 吉澤文治郎



竣工式



池上校長先生直筆の「定礎」

創立記念日にあたる11月18日、限りなく青く高い秋空の下、新しい体育館で、土佐中・高等学校新校舎竣工記念式典が、執り行われました。式典に先立ち、午前9時より代表者による神事（定礎式、竣工式）が執り行われました。定礎式では、池上校長先



会場風景

生直筆の「定礎」と書かれた板が建物に取り付けられました。続いて、竣工式が厳かに行われ、校舎の完成を祝うと共に、建物の安泰を祈願しました。  
そして、午前10時より竣工記念式典が始まりました。在校生、教職員、来賓などの関係者が、希望に満ちた晴れがましい笑顔で、会場いっぱい溢れているのがとても印象的でした。吹奏楽部による応援歌と創立30周年記念歌の演奏に引き続いて、井上教頭先生の開式の辞があり、学校法人土佐高等学校理事長宮地貫一様より式辞が述べられました。



宮地理事長の式辞

した。「この新校舎は、過去と未来のつなぎ目であり、地域と世界のつなぎ目であり、機械技術と人間のつなぎ目です。この素晴らしい環境のなかで、土佐校生としての自覚と意欲をもって、邁進してください。」という在校生への励ましの言葉に、一同、目を輝かせていました。

続いて、池上校長先生からの式辞です。過去の校舎の建設、建て替え工事の歴史を振り返り、87年前の11月18日、この地に校舎ができて竣工式を行った同じ日に、この竣工記念式典ができる喜びを語られました。また、募金等の協力を頂戴した皆様や工事関係者の皆様への感謝に続き、昨年9月1日に逝去された川崎幾三郎前理事長様への感謝を、声



尾崎知事のビデオメッセージ

を震わせながら述べられる場面があり、池上校長先生のお気持ちに伝わって胸を打たれました。そして、在校生に向かい、本学の理念である報恩感謝を忘れず、安全で快適な環境に安んずることなく、理想の実現に向かって邁進するように、声を掛けられました。記念式典にふさわしい、感動的な式辞でした。  
続いて、本学61回生でもある尾崎正直高知県知事様より、ビデオメッセージによる温かい祝辞を頂戴しました。その後、振興会の高木副会長が、祝辞を申し述べました。この素晴らしい環境を活用していくことへの期待と、振興会も協力していくことの決意を語りました。時は流れても脈々と続く土佐の校風を継承していくてもらいたいこと、将来世界で活躍するようになって「根は土佐にあることを忘れずに語りかけました。



振興会高木副会長の祝辞



生徒会長の挨拶

在校生代表の挨拶は生徒会長の松山桃子さんで、まだ新しい教室や施設を、勉強に適した学び舎に育てていきたいという決意を述べられました。

岡崎高知市長様よりの祝電を披露したあと、式典の最後を飾る校歌斉唱です。全員が起立し、松本先生の指揮と吹奏楽部の演奏に合わせて歌う校歌は、これまでの歴史と輝かしい未来を感じさせてくれる感動的なものでした。この校歌を歌いながら集う気持ちがある限り、新しい校舎の未来が拓けていくと確信できました。土佐らしい、本当に素晴らしい新校舎竣工式典でした。



# 文化行事 「トーク&ミュージックライブ」 特活部長 岡田容典 先生

今年の文化行事は、新校舎竣工記念コンサートと銘打って、尺八の岸本寿男さんとギタリストの田中彬博さんによるコンサートを行いました。

岸本さんは土佐高47回生で、お医者さんと尺八奏者という二つの顔を持った方です。1993年アメリカ留学中にテレビ番組の挿入曲の作曲と尺八演奏を担当し、翌年のエミー賞を受賞するなど、その実力は海外でも認められています。

一方の田中さんは、まだ若干23歳にもかかわらず、2007年フィンガーピッキングコンテスト全国大会で「最優秀賞」「オーディエンス賞」「オリジナルアレンジ賞」の三冠を獲得したり、2009年9月にアメリカで行われた「International Guitar Championship」で2位入賞を果たしたりと、その実力は折り紙つきです。

## 田中さんのブログ

土佐校の中学、高校の全校生徒1800人の前でのライブ!!  
写真は、ライブ後の集合写真。  
こんなにたくさん生徒たちの前で演奏できるなんて、まるで夢のよう。  
みんなの前で演奏したあの2時間。  
みんなにとって、一生の思い出になればと思います。  
少なくとも、僕と岸本寿男さんには、間違いなく一生の思い出になりました。

休憩なしの2時間。魔法のような2時間。  
君たちの少しだけ先を生きる僕らの音楽は、その心にどこまで、どんな風に届いたろう。  
大音量のなか「学園天国」、みんなの中まで飛び込んで演奏しました!(\*^o^)  
さあ、楽しんでくれたかな?(\*^\_^o)  
間近で見るみんなの笑顔。とっても素敵でした!!  
土佐校のみんな、ほんとにほんとに、ありがとう!!!!(o^)/☆

- 尺八の演奏を生で聴くのは初めてで、渋いメロディー調というイメージが強かったけど、実際に聴いてみると、こんなに音に深みがあって軽快な曲も演奏できるんだという驚きの連続でした。
- 透き通るような尺八の音色と軽快なリズムだったギター演奏が見事にマッチしていた。田中さんの演奏はギターの新たな可能性を感じることができた。また、初めて聴いた尺八もよかった。
- 聴いているうちに、どんどんテンションが上がってきて、すごく楽しかった。ルパン三世のテーマが一番良かった。ボーカルの人はとても歌が上手かったのもっと歌ってほしかった。尺八もとてもよかった。また聴きたい。

### 生徒の感想



私は最初ガーナの人と英語でうまく話すことができないだろうなあと思っていました。けど実際3日間一緒に暮らしてみても案外会話というのには単語だけでも成立するんだなあと感じました。あと、食べ物とかもご飯とかが結構好きで食べていて驚きました。日曜市の冷しあめとかもおもしろいので飲んでいました。もうひとつ驚いたことがあります。それはもの

（中3生）

今回のガーナ交流では、人と人とのつながりを言葉以上に感じられた良い経験でした。  
向こうの留学生の方も家の環境や家族になじんでくれて、英語が話せない兄弟とも意思を十分に伝達し合えたと思います。  
もう留学生の方々も祖国に帰る当日には、「Miss you」という言葉が何回も出ていました。それだけ自分も家族も留学生とだけ関係が作れたと思います。  
決して、外国人と交流することからと言って気後れすることはないです。自分ももっと交流していかれたらと思ったほどです。  
今回は、本当にありがとうございました。

（中3生）

ホームステイの案内が届いたときに、すぐに「ホームステイの受け入れをお願いします!」と言ったのは、長女でした。私も大賛成でした。不安なことよりも楽しいことばかり思い描いて当日を迎えました。我が家に来てくれたのはオドロワという15歳の女の子でした。コミュニケーションの頼りは長女と次女でした。緊張しつつも買い物に行ったり、食事に行ったり、あつという間もガーナ生のパワーを感じることが出来て本当に楽しい時間でした。ホームステイの受け入れが終った寂しさとまた来てほしいと思う素晴らしい経験でした。

二人の娘にとってもずっとと忘れることのない思い出になったと思います。

（中3保護者）



ホームステイ受け入れ家族との対面



空手の練習風景



茶道体験

## ガーナ留学生ホームステイ・ホストファミリーの感想 抜粋

すごくパソコンが好きということです。私以上に使っていました。ホームページも持っているらしいです。  
ガーナ生を今回ホームステイさせたことで、今まで自分が思っていたガーナの人と違っていたので新しい見方ができました。しかもいい子だったのでまた今度も会えたらいいなと思います。

（中3生）

## 高校

【バドミントン】 秋季大会

男子：団体優勝

シングルス1位 吉川

ダブルス1位 吉川・中山

【ソフトボール】 秋季大会

優勝

冬季大会

2位

【バレーボール】 秋季大会

男子2位

【卓球】 冬季大会

男子団体2位

【ハンドボール】 秋季大会

男子2位

【陸上】 新人大会

男女総合3位

男子：やり投げ1位 泥川

女子：学校対抗3位、最優秀選手=中村

100m 1位 武藤、200m 1位 武藤、400m 1位 中村

走り幅跳び1位 中村

400mリレー1位 (岡野・武藤・宮崎・中村)

1600mリレー1位 (岡野・武藤・宮崎・中村)

女子団体4位

【テニス】 新人戦

【自転車】 秋季選手権大会

1kmタイムトライアル1位 岡田

## 中学

【卓球】 秋季大会

男子団体優勝

女子団体ベスト4

【ハンドボール】 秋季大会

男子ベスト4

女子優勝

【バドミントン】 秋季大会

男子団体2位

女子団体3位

【陸上】 新人大会

女子：走り幅跳び1位 久米

【水泳】 学年別大会

男子：2年100m平1位 塩見、200m個人メドレー1位 塩見

女子：3年100m背1位 佐々木、200m個人メドレー1位 佐々木

【空手道】 中学生選手権大会

男子：2年形1位 池田 (全国大会へ出場)

## 登山部 インターハイ優勝を振り返り

登山部顧問 都築圭 先生

（よく聞かれます。「登山ってなにを競うのですか」マイナーな競技なので、当然のご質問だと思います。登山は、体力や技術に加えて、読図、計画書・天気図作成、気象や救急の知識など「知的なもの」が100点満点で審査されます。体力は、長い行程を安全に余裕をもって行動できることが審査されます。7、8時間も山を歩けば、自ずと体力差は出てくるので、タイムレースは行われません。今回は高3生1名と高1生3名の若いパーティーでしたが、体力には自信がありました。しかし、今年の勝因は「知的なもの」の完成度の高さといえます（土佐らしいですね）。これはひとえに高3の賀門君に依るところが大きい。彼は唯一の高3として後輩を指導し、高1生もそれを素直に吸収していきました。期末考査やクラスマッチ、夏期補習の合間をぬって短期集中で高水準のものに仕上げたのは、いかにもうちの生徒らしいと思います。今回の結果は、思いのほかたくさんの方に注目され、また祝っていただけました。ただ、地味なクラブですので、注目されることに慣れていません。正直、予想外のあたたかい反応に戸惑ってばかりでした。



（ぼく自身も登山部OBです。ぼくが生徒のころから部員数は毎年10名ほどで、年によっては、昨年のように部員数不足で県体に出場することもできないこともありま。そんな小さなクラブですが、ささやかながら新校舎落成に花をそえられたことをうれしく思っています。）  
（平成21年11月18日記）

## 受賞・入賞報告



# 向陽庵茶室披露

茶道部顧問 西 優子 先生

11月1日、多くの来賓の方々をお招きし、除幕式及び茶室披露の茶会を催しました。裏千家16代家元直筆の向陽庵と書かれた掛け軸。そしてそれをもとに彫られた扁額とともに大変貴重な宝物がお披露目となり、生徒たちから笑顔がこぼれました。

前日まで快晴だったのに、この日は朝から冷たい雨となつてしまい、広々とした交流の庭での立礼席は食堂前の軒下での開催となりました。実は前日の準備中に野点傘の開きが悪く力を入れて開こうとした際、ポロポロに破れるというハプニングにもみまわれましたが、急遽、お借りして滞りなく行うことができました。

立派な茶室、扁額といった素晴らしい有形の財産と、多くの方々の指導、ご協力という無形の財産を得られたことを大変感謝しております。お忙しい中、ご参列いただきました御来賓の方々、関係の方々、そして何よりも日本文化に理解を示してくださった校長先生ありがとうございました。

一人でも多くの生徒たち、保護者の方々に日本文化に触れていただきたいと思ひますので、文化祭、新入生歓迎茶会等の際には是非向陽庵においでください。



# 生徒会の工夫な取り組み

中澤 元 先生

現在、中学校の両生徒会では、美化委員会を組織して次のような取り組みを行っています。

- ペットボトルキャッププルタブの回収
- ペットボトル、缶、可燃ゴミの省スペース化

集めたペットボトルキャップは特定の業者でリサイクルされます。その時に出る利益がワクチンとして、発展途上国の子どもたちに還元される仕組みになっています。およそ800個で1本分のワクチンになります。業者への送付は、実際ソロプチミストの皆様のご協力をいただいています。活動を始めてから今までの半年足らずの間に、すでに1万個に達する数が回収でき、数回に分けて送付をお願いしました。

ペットボトルと缶は捨てる時に大変かさばります。また、中が汚れているとリサイクルに適さなかったり、長期間保管しておく臭いを発したりもします。そこで、捨てられたボトルや缶を一度簡単に洗浄し、それから潰して捨てるようにしています。定期的に行っても、その数は膨大なものになりますので、以前は、中学陸上部の皆さんに協力してもらっていました。

ただ、新型インフルエンザが流行している昨今、衛生的な問題がありますので、その作業は一旦中断をしています。そこで、この洗って潰す作業を皆さん個人で行っていただきたいと思ひます。一人ひとりが気をつけることで、大幅なゴミの減量になります。是非協力ください。キャップも、リサイクルするには汚れていないことが必要となります。そちらの洗浄もお願いします。回収したプルタブを車いすに交換す

るとい活動に関してはお聞きになったことがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。アルミニウムはボーキサイトから作られます。ボーキサイトをアルミニウムにするには莫大な電力が必要になります。アルミニウムをリサイクルしてアルミニウムの製品を作るにはそれほど電力は必要ではありません。ですからアルミニウムを回収するのは大変有益なことなのです。プルタブは、スチール缶もアルミ缶も共にアルミニウムでできていますので、缶から外しさえすれば、分別の必要はありません。また、保管にも場所をあまり必要としませんので、現在回収、保管を行っています。アルミ缶自体を回収すればプルタブを外す必要はないのですが、保管するのに非常に場所をとるため、缶本体に関しては、現在分別するだけにとどまっています。

また、教室から出る可燃ゴミも大変かさばります。最近始めた取り組みとして、食堂のプラスチックパックをできるだけかさばらずに捨てるよう、配慮をお願いしています。輪ゴムで止め直して捨てる、ゴミ袋の中にその分の空いたスペースができ、一度に多くのゴミを捨てることができませぬ。再利用できる輪ゴムをそのまま捨てるのも、非常にもったいないことです。紙パックの飲料もそのまま捨てるで大変スペースをとります。飲み終わったら開いて、たたくのでから捨てる、それだけでより多くのゴミが一度に捨てることのできるようになります。

近々、高知市内もゴミ袋が有料化される動きが出てきています。現在使用しているゴミ袋も決して無料ではありません。

予備校に入ったならなんとかなるだろうという幻想は打ち砕かれ授業に全くついていけず困っていました。振り返ってみると苦手の原因は中学時代にあることに気がつきました。そこで中学校の英語の問題集を買って自習室で勉強しました。これをやりきると授業もわかるようになりました。



# 進学講演会報告

振興会副会長 島巻 淳

去る9月5日土曜日に、約250名の保護者の参加をいただき、振興会主催の進学講演会が開催されました。昨年末では6月に外部会場開催としておりましたが、今年には新校舎の完成を待って、6Fの「筆山ホール」を初めて使用しました。大きな会場使用は初めてで不安もありましたが、進路部岡松先生、広報部小村先生ほかたくさんの方のご協力をいただき無事開催することができました。

今年には駿台予備学校の吉村眞一先生を講師にお迎えして、高2生対象（これは進路部主催）と保護者向けの2回講演をいただきました。先生にとっては大変ハードなステージになりましたが、「合格に向けてのポイント」や「模試の活用方法など実践的なアドバイス」を、エネルギーがシユカフユーモアあつぷりの大阪弁で熱く語っていただきました。会場は笑いとともに引き込まれっぱなしの、あつという間の90分間でした。

特に「親子のコミュニケーション」については、高2生の家庭で保護者の子供の貴重な共通話題になったことだと思います。

筆山ホールは新校舎の校章部分にあたり、筆山と高知市街の眺望のすばらしい多目的ホールです。振興会も積極的にこの筆山ホールを活用して、定期的にこのような講演会を開催していきたいと考えております。ぜひ次回以降も多数の皆様に参加していただけますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

# 進学講演会

講師 駿台予備学校 吉村 眞一



今日は、駿台予備学校の吉村と申します。先ほど高校2年生に講演しましたので、その内容をふまえてこれからお話ししていきます。大学入試は易しくなつたとよく言われています。たしかに18歳人口は減り続け、理論上は大学の入学志願者と大学の定員が1:1になる、すなわち大学全入時代がやってくるといわれています。だから入試をめぐる競争がなくなるかというところではない、実際今年の大学入試センター試験の志願者は昨年よりも増加している。難関大をめぐる入試の状況は今後も続いていくと考えるべきです。生徒に、今からやっておきたい「4つのお願い」を話します。レジュメに載せてありますからご覧になってください。

まず自分の将来の夢について前向きに考えて欲しい。現状から大学を選ぶのではなく「自分の夢」を実現するための可能性の高い大学を選ぶべき。以前クラス担任をしていた時の進路面談で、大変成績のいいお嬢さんが、私は英語が特に苦手でした。

の私立大学を希望していた。しかしそのことを父親に話していきなかつたらしく、面談の席で初めてそれを知った父親は怒り出した。結局その子は神戸の私大に進学し当然アナウンサーにはなれませんでした。きちんと説明しなかつた本人に責任があるが、子供の志望をしっかりと聞いてやる姿勢も大切で、目標を持ち上から物事を考えることが大事なことです。たとえば部活でもそうです。優勝したい、そのためにはあのライバル校に勝たなければならぬ。そのためにはこういう力が必ず必要。だから練習はこうやって頑張っていく、というように上(目標)から考えていかなければ絶対に強くなる。

勉強は歯磨きとおなじ、朝起きたらこれだけはやる、毎晩寝る前はこれだけはやって寝るというような習慣をつけてずっと続けてやってほしい。また覚えるときは目で見るだけでは覚えられない。手を動かすことによって、はじめて脳は働こうとします。そして大事なのは苦手科目をなくすこと。入試は総合点が勝負です。苦手科目を克服する方法は、苦手となった原因が必ずあるからそこに戻ることです。苦手分野というものは少しく傷でもだんだんそれが大きくなってそのうち深い溝になってくるもの。浪人時代、私は英語が特に苦手でした。



予備校に入ったならなんとかなるだろうという幻想は打ち砕かれ授業に全くついていけず困っていました。振り返ってみると苦手の原因は中学時代にあることに気がつきました。そこで中学校の英語の問題集を買って自習室で勉強しました。これをやりきると授業もわかるようになりました。

子どもが描いた夢を否定しないことが大切です。お前には無理だとは言わないで欲しい、頑張れば実現すると励ましてやって欲しい。また、くじけそうなきは両手に剣山を持つてお尻をつつくような励ましの必要なときもあります。小さなときのお子さんはかわいかったですね。レジュメの裏面に「おかあちゃんの足音」という詩を載せてあります。子供はこんなにお母さんのことを思っているのです。この時期に子供は十分親孝行をしてくれたと思ひ

予備校に入ったならなんとかなるだろうという幻想は打ち砕かれ授業に全くついていけず困っていました。振り返ってみると苦手の原因は中学時代にあることに気がつきました。そこで中学校の英語の問題集を買って自習室で勉強しました。これをやりきると授業もわかるようになりました。

予備校に入ったならなんとかなるだろうという幻想は打ち砕かれ授業に全くついていけず困っていました。振り返ってみると苦手の原因は中学時代にあることに気がつきました。そこで中学校の英語の問題集を買って自習室で勉強しました。これをやりきると授業もわかるようになりました。

- 「お母ちゃんの足音」ひとみちゃん
- 私のお母ちゃんは、いろいろな足音をたてます。朝はトントントン。これは朝の仕事がいそがしい時です。ドッドドッドド。これはきげんが悪いときです。気をつけなければいけません。ドンドンドンドン。これは私が妹がおこられるときです。スースースー。上品な音です。おきやくさまがいらつしやいました。トットトットト。これはきげんがいいときです。一番きげんがいい時はスキップです。くちぶえ吹けば最高です。
- 4つのお願ひ(レジュメより)
1. 自分の将来について真剣に考えて志望大学・学部を決めてほしい。
  2. 苦手科目(分野)単元を無くしてほしい。
  3. 「ハミガキ」学習のお願い。
  4. 手(何回も)動かすクセをつけてほしい。